

# 市史編さんだより

2009. 7. 1

〒229-0021

相模原市高根 3-1-19

電話 042-750-8025

FAX 042-750-8039

発行 相模原市総務局総務課市史編さん室

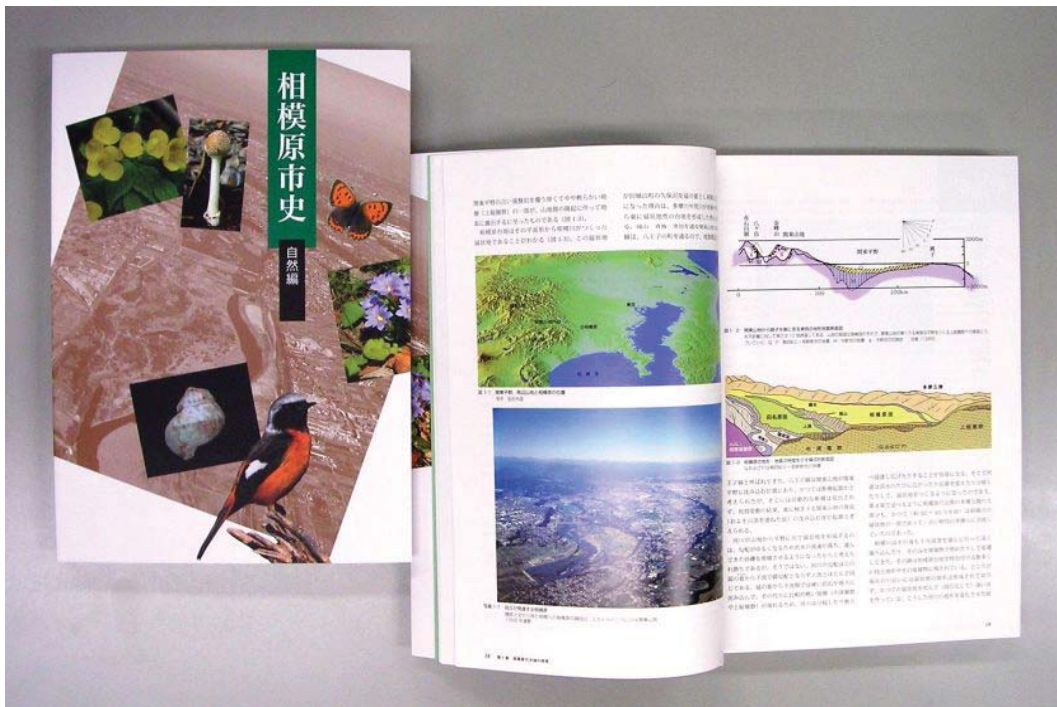
ホームページ: <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp>

E-MAIL: [shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp](mailto:shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp)

## 色彩豊かに 自然を読み解く

—市内書店・市史編さん室・博物館等で好評発売中—

相模原台地の成りたち、そこに生きる動物・植物を詳細に解説した『相模原市史 自然編』を刊行しました。この編は、豊富な図版(図231点、写真571点)により自然の持つ魅力を余すことなく掲載しています。是非、ご一読ください。



〰〰〰〰〰 「自然編」「現代資料編」「現代図録編」等 販売書店 〰〰〰〰〰

- 紀伊国屋書店相模原店 (相模大野) ブックスアミ南口店 (相模大野) 柴胡書房 (文京) ブックス山田 (松が枝町)  
 相模書房本店 (相模台) 渡辺書店 (相模台) 相模書房女子美術大学店 (麻溝台) 久保田書店 (千代田) 中村書店  
 淵野辺本町店 (淵野辺本町) 中村書店ダイエー店 (上溝) 中村書店本店 (横山) 三基書房 (田名) 中村書店田名  
 店 (田名) 中村書店橋本店 (西橋本) 有隣堂ミウイ橋本店 (橋本) カクダイ書店 (二本松) 山本書店 (津久井町  
 中野) 敏正堂 (相模湖町与瀬) ふじの書房 (藤野町小淵)

# ある日の調査から～民俗編

生活改善活動とトマトソース

小俣シゲ子さんは、下九沢でトマト栽培ばかりでなく、自宅内に加工の作業場を設けてトマトソースを作って販売をしています。



(瓶詰め作業を行う小俣さん)

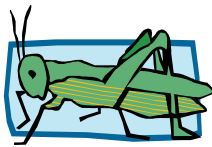
トマトソース作りのきっかけは、出荷や消費しきれなかったトマトをそのまま捨てるのはもったいない、何かできないかと思案した結果でした。

この加工については、以前に農家の生活改善活動グループで学び習得した農産物加工技術が、とても役立っているということでした。当時、生活改善活動グループを指導に来ていた生活改良普及員はよく農家に足を運んで、夜遅くまでいろいろと教えてくれたとのことでした。

小俣さんは、現在も生活改善活動グループで、介護や生活習慣病などについて勉強を重ねているということです。

## 「民俗地図」作成へ 民俗部会報告（5月31日開催）

今回の部会では、「相模原市史 民俗編」執筆にあたっての調整事項について主に議論がなされました。旧相模原市内での土地利用、集落の位置、年中行事の分布を示した各種の分布図については、本文の記述と分布図がセットになっている方が分かり易いため、本文中にエリアを区切った分布図を載せることとなりました。また、巻末には旧相模原市域の地図を付け、その地図中に土地利用の内容ばかりでなく、社寺の位置、坂や道の名称、伝承の場所等を示し、「民俗地図」として市民に活用してもらおうということになりました。



### 編さん室の動き 5月・6月

- |  |                          |
|--|--------------------------|
| 5/14日 法政大学大原社会問題研究所調査(5/21・28 6/4・11・18・25も実施) | 31日 民俗部会                 |
| 16日 石造物・景観調査説明会                                | 6/3日 社寺事前調査(上溝・千代田)      |
| 20日～6/20日 各公民館区での石造物・景観調査チーム打合せ会               | 9・12日 民俗聞き取り調査(田名)       |
| 22日 民俗聞き取り調査(下九沢・大野台)                          | 12日 相模補給廠内神社写真撮影         |
| 30日 勝坂中村家調査                                    | 16日 歴史的公文書の引継ぎ(津久井総合事務所) |
|  | 17日 社寺事前調査(陽光台・新戸)       |
|  | 20日 民俗聞き取り調査(上溝)         |

## いよいよ最終年！ 21年度石造物・景観調査始まる



(全体説明会で、各公民館区ごとの顔合わせ)

今年度の調査は、12の公民館区を対象に行いますが、その説明会を5月16日(土)に博物館大会議室で開催しました。当日は77人の参加者で、説明の後、各公民館区ごとに別れて、顔合わせをし、次回の日程を決めて散会となりました。

### 各チームが活動開始

6月20日で、公民館区ごとのチーム打合せが終わり、全チームの活動が開始されました。調査員はその後93人となっていますが、メンバーの多少にかかわらず共通していることは、多彩なメンバーが集まっていることです。素晴らしい調査を下さるとともに、楽しい1年を皆さんで作って下さると確信しました。



(清新公民館区の打合せの様子)

### 20年度の調査結果

20年度は11公民館区での調査でしたが、思わぬアクシデントもあり、現在2公民館区で作業を継続中です。詳細は終わり次第報告しますが、調査した石造物の数は約1800基となっています。

## 文化の香り漂う地、宝光寺 ～上溝に生きた画家片野湘雲～



6月3日(水)、文化遺産編に収録予定の社寺文化財の調査のため、上溝にある宝光寺を訪ねました。

ご住職から、お寺の本堂やご本尊などについてお話を伺いましたが、その境内で目にしたのが画家片野湘雲の顕彰碑です。明治8年上溝に生誕し、幼少期より絵を学び、昭和初期にかけて数多くの作品を残し、後進の指導育成に尽力した地元の傑出した画家が片野湘雲です。

宝光寺では、その作品の一幅を拝見することができましたが、躍動感のある筆運びの素晴らしさには魅了されるものがありました。全国各地を遊歴し、晩年、上溝を拠点に活躍した画家片野湘雲。昭和36年、有志によりその業績を讃える碑がこの地に建立されたのです。

## 歴史的公文書 の収集・保存

市史編さん室では、保存年限を経過して廃棄される公文書のうち、歴史資料として保存すべき公文書を選択、収集・保存しています。

各課・機関から廃棄される文書から、「制度・機構の新設・変更・廃止、行政区画の変更、配置分合に関するもの」「施策・企画を具体的に示すもの」「条例・規則・要綱・基準等に関するもの」「監査等に関するもの」「各種調査・統計に関するもの」「表彰等に関するもの」「各種委員会・審議会に関するもの」「市内における重要事件・行事等、市政・社会情勢を反映する内容を持つもの」「陳情・請願・要望・相談に関するもの」「その他歴史的・文化的価値があると認められるもの」の10項目により、引継ぎする公文書を選別収集し、目録化して保存し、市史編さんに利用しています。



## 平成 21 年刊行 市史調査報告書 2～5 の内容

### 相模原市史調査報告書 2 『動植物調査目録』

平成 16 年度から 19 年度の 4 年間にわたり、旧相模原市域に分布・生息している動植物について観察、採集、聞き取り・情報提供により蓄積した調査記録です。

### 相模原市史調査報告書 3 『相模原周辺の関東ローム層中の植物珪酸体からみた過去 8 万年間の気候植生変化史』

関東ローム層は酸性度が強く、植物は残りにくい性質ですが、それに影響されない植物珪酸体をもとに気候の寒暖の変化を解析したものです。

### 相模原市史調査報告書 4 『相模原地域の第四紀地史研究のための指標テフラ(火山灰)』

広域的に堆積したテフラからはいろいろな情報を得ることができます。その基本情報を一冊にまとめました。

### 相模原市史調査報告書 5 『縄文時代遺跡資料調査報告書』

勝坂遺跡 A 地区ほか考古編に係る縄文時代遺跡の調査資料を収録したものです。

#### \* 訂正

- 『自然編』の記述で「木もれびの森」の面積(281 頁の写真 11-78 説明部分及び同頁の本文中の左 3 行目)に誤りがありました。(正 73ha, 誤 14km<sup>2</sup>)
- 『相模原周辺の関東ローム層中の植物珪酸体からみた過去 8 万年間の気候植生変化史』付録 CD-ROM 版中の資料 3 の図 2 に不具合がありました。

正しい図及び正誤表は市ホームページ⇒観光・文化⇒市史編さん⇒相模原市史のページに掲載しています。

## 市史・町史の販売窓口案内

相模原市史「自然編」「現代資料編」「現代図録編」、相模原市史ノート、相模原市史調査報告書、「相模原市史 1～7」、旧津久井 4 町の町史等刊行物の閲覧・販売は、市史編さん室・市立博物館・市役所と各総合事務所の行政資料コーナーで行っています。また、相模原市書店協同組合加盟店(1 頁参照)でも販売しておりますのでご利用ください。